

「くれないの二尺伸びたる～」(短歌に親しむ)
 テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 短歌について説明している次の文の(ア)～(コ)に当てはまる言葉と漢数字をそれぞれ選びなさい。
 なお漢数字は、同じものを繰り返し使っても良い。また、同じカタカナの()には、同じ言葉や漢数字が入る。

【説明文】

短歌は、(ア)年以上前から受け継がれてきた日本の(イ)で、
 (ウ)・(エ)・(オ)・(カ)・(キ)の(ク)音から成り立っている。

同様の(イ)の形式として、(ウ)・(エ)・(オ)の(ケ)音から成る(コ)がある。

【選択肢】

サ：二 シ：四 ス：五 セ：六 ソ：七 タ：十五 チ：十七 ツ：二十
 テ：二十八 ト：三十一 ナ：六百 ニ：千三百 ヌ：千八百 ネ：歌 ノ：詩
 ハ：俳句 ヒ：絶句

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

【オ】

【カ】

【キ】

【ク】

【ケ】

【コ】

次の短歌について、問2～16に答えなさい。

くれなるの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる

問2 この短歌の作者を漢字で答えなさい。

問3 この短歌の作者が歌人・俳人として主に活躍した時代を答えなさい。

問4 この短歌の作者の代表作を次の中から選び、○でかこみなさい。

ア：みだれ髪

イ：竹乃里歌

ウ：赤光

エ：桜花伝承

問5 「二尺」の読みをひらがなで書きなさい。

問6 「春雨」の読みをひらがなで書きなさい。

問7 「くれなる」を現代仮名遣いに直して書きなさい。

問8 「やはらか」を現代仮名遣いに直して書きなさい。

問9 この短歌は何句切れか答えなさい。（※句切れがない場合は、「句切れなし」と答えること）

問10 この歌が詠まれた季節として正しいものを次の中から選び、○でかこみなさい。

- ア：早春
- イ：盛夏
- ウ：晩秋
- エ：真冬

問11 この短歌で歌われている薔薇の芽の色を、次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：緑
- イ：茶
- ウ：紅
- エ：橙

問12 「針」とは薔薇の何のことを表しているか。ひらがな2字で答えなさい。

問13 二尺に相当する長さを次の中から選び、○でかこみなさい。

- ア：約30.3cm
- イ：約60.6cm
- ウ：約90.9cm
- エ：約1m

問14 この短歌で「針」の他に「やはらか」とされているものを「～の様子」と続くように歌の中から抜き出して答えなさい。

問15 この短歌について説明した次の文のうち、正しいものを全て選び○で囲いなさい。

ア：この短歌は、日本の季節の情感を大切にし、激しく冷たい雨の中懸命に咲く薔薇の花の健気さを歌っている。

イ：この短歌は、「くれなゐ」「二尺」「やはらか」というように曖昧な表現を使って薔薇の芽を幻想的なベールに包んでいる。

ウ：この短歌は、「針」「やはらか」という言葉を使い、薔薇の新芽のみずみずしい柔らかな様子を見事に表現している。

エ：この短歌は、おなじ音の助詞を続けて使うことでリズムを生み出し、歌に優しい印象を持たせている。

問16 つぎの語句で使われている「の」のうち、持つ役割が他の物と違うものを1つ選び、○でかこみなさい。

ア：くれないの

イ：薔薇の芽

ウ：…芽の針

エ：春雨の

「くれないの二尺伸びたる～」(短歌に親しむ)
テスト対策練習問題(解答)

- 問1
- | | |
|------|------|
| 【ア】ニ | 【イ】ノ |
| 【ウ】ス | 【エ】ソ |
| 【オ】ス | 【カ】ソ |
| 【キ】ソ | 【ク】ト |
| 【ケ】チ | 【コ】ハ |

※完成する説明文

短歌は、千三百年以上前から受け継がれてきた日本の詩で、五・七・五・七・七の三十一音から成っている。同様の詩の形式として、五・七・五の十七音から成る俳句がある。

問2 正岡子規

問3 明治時代

問4 イ

【解説】アは与謝野晶子、ウは斎藤茂吉、エは馬場あき子の作品。

問5 にしゃく

問6 はるさめ

問7 くれない

【解説】歴史的仮名遣いの「ゐ・ゑ・を」は現代仮名遣いの「い・え・お」に直す

問8 やわらか

【解説】語頭以外の歴史的仮名遣いの「は・ひ・ふ・へ・ほ」は現代仮名遣いで「わ・い・う・え・お（わ行）」になる

問9 句切れなし

【解説】句切れとは、俳句や短歌などの一首・歌の中の「大きな意味の上での切れ目」のこと。「くれないの二尺伸びたる薔薇の芽の針やわらかに春雨のふる」の歌には、歌の中で意味や調子が切れている部分はない。

問10 ア

【解説】薔薇の芽が生えてくるのは3月前後。

問11 ウ

問12 とげ

問13 イ

【解説】1尺は約30.3cm。

問14 薔薇の芽（の様子）

問15 ウ・エ

【解説】「春雨」とは、春に降るこまやかな雨のこと。よって、アの「激しく冷たい雨」は誤り。また、薔薇の花はまだ咲いていないので、その点でも誤り。

「くれない」で薔薇の芽の色、「二尺」で薔薇の全体の長さなど、薔薇の芽を細かく表現しているので、「曖昧な表現」としているイは誤り。

問16 エ

【解説】「くれないの」「薔薇の芽」「…芽の針」は連体修飾格の「の」であるのに対して、「春雨の」の「の」は、主格の「の」である。